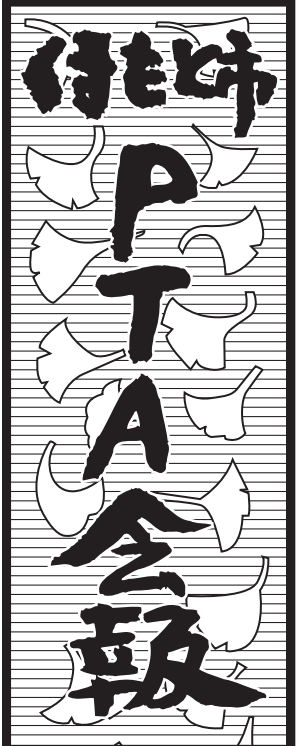


平成十九年度

# 熊本市PTA協議会定期総会

## 森 徳和会長を再任

## 出水中の五名を人命救助で表彰



熊本市PTA協議会  
 会長 森 徳和  
 編集責任者 鬼木 顕正  
 発行所 熊本市PTA協議会  
 熊本市草葉町5-1  
 TEL (356) 1122  
 FAX (351) 2309  
 印刷：太陽社

五月十九日（土）、熊本市立図書館ホールにて、熊本市PTA協議会の定期総会が、単位PTAの代表者など百四十六名が参加のなかで、開催されました。

今年度の会長には、井芹中PTA会長の森徳和氏が再任され、四年目となりました。

主催者としての挨拶では、ノーベル賞受賞者の小柴さんの少年時代の苦労話を紹介し、「逆境こそ人間を鍛えるチャンス。逆境に立ち向かう子どもに育てたい」と話しました。

また、来賓を代表して小牧幸治熊本市教育長と、曾我邦彦熊本県PTA連合会長の挨拶があり、そのなかで曾我会長は「子ども達には失敗を経験し、大人になってほしい。そして失敗したら素直に謝り、もっとよくなるための入口として考えてほしい」と述べられました。

続いて表彰式があり、市長感謝状三人、市教育長感謝状十二人、市PTA協議会個人表彰二十四人・団体表彰一校が贈られました。また、善行表彰には、出水中学校

二年生の五名が選ばれました。彼らは、校区にある加勢川に転落した女子小学生を連携して救助したことで表彰されました。

議事にうつり、平成十八年度の会務・決算・監査などの報告や、十九年度の役員改選、事業計画・予算などの提案が審議され、承認されました。

総会の総括として「命の大切さを理解し、人のいたみがわかる心を持った子どもの育成」などを盛り込んだ大会宣言が提案され、参加者の拍手のもと承認され、閉会となりました。

(五福小 成瀬悦子)



総会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。平成十四（二〇〇二）年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊さん覚えていますか？小柴さんは、「カミオカンデ」超新星爆発から発生した

## 逆境こそチャンスだ

熊本市PTA協議会会長 森 徳和

ニュートリノを世界で初めて観測し、「ニュートリノ天文学」という新しい学問分野を切り開きました。しかし、ノーベル賞を受賞した小柴さんは、子どもの頃、大変な苦労をした人です。小柴さんが中学一年生

小柴さんは、毎日片道四キロメートルの田舎道を歩いて学校に通いました。身体が不自由なため、バスのステップが昇れず、歩くしかなかったのです。人気のない田舎道で転び、人に助けられるまで一時間半も起き上がれなかったこともあったそうです。

人間は、逆境に直面すると、その場から逃げ出したいという思いにかられます。しかし、逆境は、人間を鍛えるチャンスでもあるのです。現在、子どもに関するニュースは、暗いもの

〈総会あいさつ要旨〉

のとき、ある朝目覚めると手も動かない、寝返りも打てない。小児マヒにかかっていました。当時、有効な治療法はなく、手足を少しづつ動かすリハビリ以外対処法はありませんでした。

みじめな思いになり、「こんちくしゅう」「こんちくしょう」と言い続けたそうです。小柴さんは、なりたくなかった小児マヒではなけれど、そのような経験を通過して、人間本気になると強く思ったそうです。逆境にあって、「なにくそ」と思う強い心。それが小柴さんを支え続けました。

が多くなってきました。そうしたなかで、小柴さんのように、逆境に立ち向かう強い心を持つ子どもを、熊本市の小学校、中学校で一人でも多く育てたいと思います。この総会が、熊本市PTA協議会の今後の発展の出発点となることを祈念しまして私の挨拶といたします。



## 平成十九年度 熊本市PTA協議会役員

役職	氏名	単P名・属	地区	所属委員会
会長	森 徳和	井 芹 中	北部 B	生務
副会長	松本 誠司	砂 取 小	東部 A	厚総
	木村 照一	東 部 中	東部 B	広総
	吉田 佳樹	古 町 小	西部 B	広総
	鎌田 樹聡	力 合 中	南部 B	愛教
	高木 徳文	城北 小	北部 A	愛教
	工 哲生	京 陵 中	北部 B	愛教
会計理事	川越 俊一	桜 木 中	東部 A	
	尾上 高士	力 合 小	南部 B	
専門委員会委員長	中山 栄司	出 水 小	東部 A	厚総
	山形 英雄	月 出 小	東部 B	厚総
	後藤 正樹	鮑 田 小	西部 B	広総
	鬼木 正稔	日 吉 小	南部 B	広総
	田中 宏正	黒 髪 小	北部 A	愛教
	渡辺 正宏	碩 台 小	北部 B	愛教
市P担当部長	東 昌子	東 野 中	東部 A	厚総
常任理事	田 典生	帯 山 小	東部 B	厚総
	橋本 博一	三 和 中	西部 B	広総
	西 聖一	北 部 東 小	北部 A	愛総
	本郷 早利子	錦ヶ丘 中	東部 B	広総
	吉坂 純子	松 尾 小	西部 B	広総
	亀甲 晴子	江 南 中	南部 B	広総
	栗原 浩胡	桜 山 中	北部 A	愛教
	森下 直衛	竜 南 中	北部 B	愛教
監事	中 村 昭人	松 尾 小	西部 B	
	西 田 浩二	慶 徳 小	北部 B	
参 与	佐 野 昭二	小学校長会代表 一新小学校長		
	竹 田 義輝	中学校長会代表 出水南中学校長		
	池 邊 利昭	教育委員会 指導課長		
	前 淵 啓子	教育委員会 生涯学習課長		
	中 村 順浩	生涯学習課 生涯学習推進係長		
	中 山 久美	生涯学習課 社会教育指導員		
事務局 長	太 田 州保			
事務局 職員	坂 本 真由美			



# 平成十九年度 会長理事・市P担当副会長理事合同研修会

六月二十三日、中央公民館にて会長・市P担当副会長合同研修会が開催された。森徳和市長（井芹中会長）、東昌子市P担当副会長（東野中副会長）あいさつの後、各分会に分かれて研修が行われた。

## 市P担当副会長部会

にPTA専用の棚か箱が用意されているので、

市P担当副会長（以下市P担当と略）部会は、前県P会長山口義人氏がコーディネーターとなり十八年度市P常任理事七名によるパネルディスカッション形式で進められた。パネラー自己紹介では皆さん「PTA役員の想い出は良い事ばかりです」とのこと。失敗や苦労も、それを乗り越える過程が良き想い出となるようだ。その後、実務の話が進められた。

最低でも週一回確認すること。子どもに持ち帰らせるのは無用の負担を与えてしまうので避けたほうが良い。すべての書類を市P担当が開封し、会長や担当委員に配布するのが望ましい。そのうちに先生方も親しくなり、書類が届いたら連絡してくれるようになる。



会長は校長先生と、市P担当は教頭先生と話をすることが多くなると思うが、内容を安易に口外しないこと。また、学校と保護者の間に問題が発生したときなど、決して一方の側に立つのではなく、



中立を守らねばならない。P防災の内容が分からない時は、遠慮せずに先輩の市P担当さんやP事務局に聞き、ミスのないように注意する。ケガや事故の際は当事者に対して思いやりの心を持って接すること。

## 新任会長部会

本年度初めて会長職に就かれた三十余名の研修会では、熊本市PTA協議会会長の森徳和氏からPTAとは大人のボラン



ティア集団。活動を通して親が学ぶ場であり子どもを喜ばせるためだけのものではない。また、会長は円滑な運営をするために役員それぞれのポジションで十分活躍できる場を考えるまとめ役。決してひとりでは無理なことをし、副会長や役員面々と協力していくことが長持ちの秘訣。汗をかき頭を下げる場が多いのも会長の役目とも。

室におじゃましてみると実際の子どもたちの様子をうかがえる良い機会にもなる。その後の話では、実際携わる実務「会長のお仕事」について。居ては困る会長にならないために、セツメイカイ（説教・命令・介入）ではなく、エンカイ（援助・解説）の姿勢で運営する。また、井戸端会議にならない運営委員会の無駄のない進め方。年間活動の小学校、中学校の違い。規約改正は、思いつきではなく、改正目的を明確に、会員の理解が得られるように等、森会長自らの小中会長経験を交えて話が進め

られた。続いて前市P担当副会長部長の那須優子氏からは、会長と市P担当副会長とのコミュニケーションの取り方、お互い困らない書類のやりとりについて数々のアドバイスがあった。最後に参加者からの質問が相次ぎ時間切れとなった。その一つに保護者からのクレーム処理と関わり方。あくまでも介入しすぎず、当事者同士の話し合いができる方向に促す。新会長の悩みは尽きないようだが、他校の現状も知ることで今後を乗り切る気持ちを持ってたように感じ

た。（力合中 浦田明子）

## 中学校会長部会

自己紹介の中で単Pの活動状況、地域交流、ブロック運営などの報告があった。

活動として、あいさつ運動への参加やバザー開催があげられた。あいさつ運動では生徒との懇談会で保護者の参加が少なくという意見があったため、役員で連絡網をまわし声かけの対応をしていた。バザー開催では収益金で体育大会時に使用するテントを購入した。購入の際には卒業生の協力もあった。

PTA活動停滞の中で総会開催一回を二回にして会計中間報告をした。研修会を二回開催、小・中学校合同ミニバレー大会や大会後にクラスごと

## 小学校会長部会

新任以外の小学校会長部会は二グループに分かれて実施され、それぞれの学校での取り組みの紹介や、問題点についての意見交換が行われた。

ある単Pでは、連絡網を作成しにくい状況にあるため、ホームページを立ち上げてメールでの情報配信を試みている。メール配信を採用する際の問題点として、費用の面や学校の理解が挙げられた。費用については、無料のものを利用して

るところや、保護者アンケートで有料でもよい意見が多かったため、有料で利用しているところなど、対応は様々である。また初めは乗り気でない



学校のあったが、今では学校からの情報配信にも利用されている。どの学校も役員の出や、一人一役の実施には様々な悩みを抱えている。委員長選出が大変なため、委員会の数を減らし、先に委員長を決めてしまう単Pや、逆に、PTA活動に参加しやす

の懇親会を開くなどして保護者のコミュニケーションの場になっていった。また、親父の会がある中学校も数校あった。地域との交流会としては、地域の特徴を生かした懇談会、防犯ネットワーク会議などを開催している。地域性が強い所では三十数団体が集まって月一回の定例会が開かれていて、PTAは地域の中ではまだ子どもの様な団体という単Pもあった。



ブロック運営については、定例会を開催しているかどうかの質問について、地域の違いで出来ないが会長同士の連絡網が出来ていたり、理事会報告などは市P担当が情報などをながしている。又、地区の連絡会で年に数回集まっている所もあった。（西原中 浦川知恵子）

くするため、各委員会の仕事の量を減らし、委員会の数を増やしている単Pもある。それぞれの学校の環境や生徒数などで、よりベストな方法はないかと努力している。一人一役でも、各単Pの取組みは様々だが、あくまでも保護者に学校へ来るチャンスを与えることが目的であり、「できる」ところを、できる時間、できるだけ」という気持ちで取り組んでほしい。との意見に共感した。最後に、「会長の仕事は情報収集であり、地域と学校と保護者の調整役である」との意見は、副会長の立場からするとたいへんありがたい。ぜひ、この場で得た情報を各単Pで活用していきたい。（帯山西小 津下美由紀）



# 会計担当者研修会開催される

## 二〇〇名を超える参加者

梅雨入り宣言が発表された六月十三日、中央公民館地下ホールで「会計の適切な取り扱いについての研修会」が行われ、各単位PTAの会計担当者約二百名が参加した。

始めに、森徳和市長が、ある学校でのPTA会費の流用事件が発端となり、各校会計へのアンケート実施、そして今回の会計対象として初めての研修会開催に至ったと説明。その上で、残念な出来事が出発点ではあるが、他校から学び、よりよく改善してゆく前向きな研修にして欲しいと挨拶した。

続いて「会計をこのようにやっています」をテーマとして、日吉東小の鬼木顕正会長がコーディネーターになり、三校の事例発表が行われた。まず力合小の尾上高士会長は、月毎の収支明細を明らかにしていることを紹介。各委員会の動きが一目瞭然になった利点が報告された。続いて、東部中の木村淑子会計担当者、執行部の会計担当者と別に雇用職員を置いていることを紹介。小口現金の扱いについてや、年二回の監査のことも報告された。



最後に、城北小の高木徳文会長は、すべて任せきりであったPTA雇用職員の退職を機に、執行部で会計を担当した際の苦労話を披露。その反省から「誰が見てもわかる」状態に変えるよう会計を工夫したと紹介。経費精算書を作り、会長と会計担当者が情報を共有できるようにしたり、パソコン使用により仕訳帳に記帳するだけで個別の出納に反映するよう工夫した点が特徴的だった。

三校に共通したのは、会計を会長・会計担当者間でオーブンにすることで、結果として魔が差すことが防がれることであつた。その後、参加者からの様々な質問に対して、多くの実例が報告された。そのいくつかを紹介する。



**Q** PTA会費の集め方は？  
**A** 口座引き落としの所も何校かあるが、徴収袋を使用しているのが大半である。免除がある場合は、その旨を書いたプリントを入れておき、減額分を提出してもらつた学校もあつたが、P 災等の返金は、個人情報保護のため学校にまかせている所が多い。

**Q** 消耗品や備品の購入時についてくるポイントとは、どうすべきか？  
**A** ポイントもPTA会費の一部である。また備品購入時に使用する。

**Q** 卒業記念品代をPTAで預かって良いか？  
**A** 卒業学年の先生や学年委員長が管理している学校が多いようだ。要請があつた場合は、PTA費に項目を設け預かる方が良いのではないだろうか。

**Q** 夏休みプール開放時の消毒代を出して欲しいと要請があつたか？  
**A** PTA費から支払っている学校もある。

**Q** コピー代用紙代はどうしているのか？  
**A** PTAでコピー機をリースし使用している所もある、学校の機械を使用している場合は、用紙代や事務費として学校に支払っている。

**Q** PTA会計のチェック機能の強化を図る目的で開催された研修会だったが、会計担当者は、日々の会計処理における細かい問題に悩んでいる現実が垣間見えた。この研修会を継続していくとともに、各学校間の情報交換を活発に行うためにも、ブロック単位での研修会を開催してもらいたいと感じた。  
(武蔵小 川田 晃映)  
(三和中 植田 じす江)

## 退職校長会は人材の宝箱です

六月二十二日、国際交流会館にて熊本市退職校長会と市P協議会との教育懇談会が開催されました。

退職校長会は昭和四十七年に設立され、現在中村貞夫会長以下六百余名の会員が各小学校区単位で組織されています。今は自治会長、保護司、民生児童委員等、地域の中核となつて活躍されています。

皆様方ですが、教育に携わり学校で育てられた者として子どもの健全な育成を願い、十一月一日を「くまもと教育の日」と定め、地域と学校の架け橋として学校教育に寄与されています。懇談会ではPTAが抱える問題点に対して数多くの助言を頂きましたが、非行問題、学習意欲の問題、生活態度の問題、さらには

## 単P会計研修会の今後について

市P協議会副会長(総務担当) 木村 照一

去る六月十三日に行われた単P会計研修会は単P会計処理の適正化を目的に初めて行われました。

今回の研修会で得た大きな成果はパネラーの事例発表から会計の不正流用の予防策に有効なシステム作りを得られたこと(帳簿・監査・通帳、印鑑、現金の管理等)と、各単Pで会費の使いみちについて様々な考え方があつて会計担当者の悩みとなつていくことがわかつたことでした。例えば夏休みのプール開放時における消毒薬の負担に關して、あるいはポイントカードの使い方についてなど、単Pそれぞれの会費の使い方について、よりよいPTA会費の使い方についての指針を提案していきたいと思つています。

各小中学校に退職校長会の名簿は備えてあります。小学校区理事或いは退職校長会事務局に相談すれば、内容に応じた講師を紹介して頂けます。生徒のために丸坊主になつてけじめのつけ方を教えてくれた先生、毎日お弁当を持って不登校の生徒を迎えにいらつてくれた先生、校長室が子どもたちでいっぱいだった先生、

地域交流の方法、それぞれのスペシャリストが揃つておられ、その言葉の奥行きに感動しました。

そんな先生方の集まりです。「遠慮はいりません」とのこと、お言葉に甘えてPTA講演会、教育相談等、お願いされてみてはいかがでしょうか。  
(日吉東小 鬼木顕正)





力合小

### 安心メールとAED

力合小学校（児童数一〇六四人）では、平成十八年十月より、子どもたちの安全確保のため『力

### 東町小 かけがえのない交流 共に過ごし、学ぶ素晴らしさ

東町小学校PTAには九つの委員会があり、一人一役のもと全委員会委員として活動を担っています。転出入の多い学校で、県外からきた保護者から、「PTA活動が盛んなことに驚いた」という感想を耳にすることもしばしばです。今回は、そんなPTA活動ではなく、私が素晴らしいと思う東町小学校の一面について紹介します。



交流の様子

向きによって違うことを真っ先に話してくれました。

そんな子ども様子から、交流学習を通して、子どもなりに理解を深め、たくさんのかんじを感じているのが伝わってきます。かけがえのない時間を共に過ごしている、東町小学校ならではの時間です。心のバリアフリーをめざして、お互いに理解し認め合い、尊重しあうことを体験から学んでほしいと思います。

（東町小 矢野美紀）

（バザー）の益金にて、尚学会（PTA）単独にて購入いたしました。他

合校区安心メール』による情報提供を開始しました。力合校区社会福祉協議会のご協力により、無料で情報提供ができます。情報内容としましては、主に力合校区にて発生した不審者情報や小中学校内での出来事、部活動等の活動・活躍の情報提供です。色々な情報提供を行っていきたく思います。

また、力合小学校の保健室には最近注目のAED（自動体外式除細動器）が設置されております。昨年度の、力合祭

六月六日、熊本市立飽田南小学校（全児童数一七一人）で熊本バレエ研究所の方々による公演がありました。この公演は、文化庁「学校への芸術家

### 飽田南小 熊本バレエがやってきた！

等派遣事業の一環として行われたものです。

熊本バレエ研究所代表の伴征子さんのバレエ講座では、マイムの動き一つ一つに意味があることを学びました。



さらに子どもたちは、バレエの基本動作の体験レッスンで実際にまわったり跳んだり音楽に合わせてセブンステップを体験し、恥ずかしがりながらも踊り子になりました。最後に「眠りの森の美

（飽田南小 上村由美）



### 「子ども」のサインを見逃すな

「学生・生徒の自殺最悪」六月上旬にそんな見出しの新聞記事を見て愕然とした。

警察庁のまとめによると昨年一年間に自殺した人のうち学生・生徒の自殺は二・九％（二五人）増の八八六人で、統計を取り始めた七八年以来最悪のこと。このうち小学生は十四人で昨年の二倍、中学生も二二・七％増の八一人となっており、昨年のいじめ自殺の続発を裏付ける数字となっている。

熊本県警のまとめをみると十九歳以下の少年の



保健室にて 養護教諭の坂本先生と斎藤先生

自殺は十一人（男性八人、女性三人）で前年より七人増えている。このような統計結果を踏まえて、あらためて命の大切さを子どもたちに教えることの必要性を痛感した。そして、自死という最悪の選択をするまでの間に子どもから発せられるサインを見逃さないように、子どもとのコミュニケーションや学校と家庭との連携の重要性について、今一度、保護者全員で再確認しましょう。

市P協議会副会長 鎌田 聡（力合中会長）

### 編集後記

痩せた。ピリーのキャンPのおかけ、ではない。PTA役員になると、いろんなおまけが付いてきた。

校務協同会として市P広報委員。これぞ人間を鍛えるチャンスなのだと思いませんか？

協分スマートになったのだが、一番の褒美は「おとうさん頑張ってるね」と

言ってくれた子どもの笑顔でした。

◆前期編集委員◆

- 飽田南小・上村 由美
- 健康小・嘉悦みどり
- 東町小・矢野 美紀
- 西原中・浦川知恵子
- 帯山西小・津下美由紀
- 三和中・植田こず枝
- 江南中・亀甲 晴子
- 力合中・鎌田 聡
- 浦田 明子
- 力合小・尾上 高士
- 猪本 麗サ
- 武蔵小・川田 晃映
- 藤園中・荒尾 信
- 五福小・成瀬 悦子
- 日吉東小・小林 純子
- 鬼木 顕正